



西国三十三所草創1300年  
1300 years since the inception  
of the pilgrimage to Saikoku  
Sanjusansho

報道関係各位

2016年10月5日  
西国三十三所礼所会

## 平安京の“花の風景”を境内に再現！

# 西国三十三所第19番札所「革堂 行願寺」 源氏物語ゆかりの「藤袴」を一般公開

～ 平安時代の原風景を偲ぶ、新たな秋の風物詩 ～

10月11日(火)～16日(日) / 入場無料

西国三十三所第19番札所「革堂 行願寺」は、京都御所に近く、「源氏物語」を支援した藤原氏とのご縁も深いことから、10月11日(火)～16日(日)の6日間、源氏物語ゆかりの花「藤袴」を境内に展示し、平安京の“花の風景”を再現いたします。

約千年の歴史を誇る「革堂 行願寺」は平安時代中期にあたる寛弘元年(1004年)、行円により創建され、藤原氏や源氏、後鳥羽上皇など歴史を動かした人々と深く関わってきました。なかでも「源氏物語」を支援した藤原道長の息子・藤原顕信は行円のもとで剃髪出家し、「行願寺」に大きな足跡を残しています。

そこで、「西国三十三所草創1300年記念事業」がスタートしたことを機に、源氏物語第30帖「藤袴」に登場する京都古来自生種の藤袴を境内で一般公開することに致しました。境内への入場は無料です。この機会に、平安時代の原風景を満喫してください。

概要は以下のとおりです。



源氏物語ゆかりの花「藤袴」



西国三十三所第19番札所「革堂 行願寺」

画像データは、下記サイトにてダウンロード用jpgデータをご用意しております。

TMオフィスサイト <http://www.tm-office.co.jp>

トップページ左「報道用画像データ」を以下ID、PWで開いてください

ID: press PW: press

本リリースは本日、京都市政記者クラブ・宗教記者クラブにて配布しております。



西国三十三所草創1300年  
1300 years since the inception  
of the pilgrimage to Saikoku  
Sanjusansho

## 概要

◆**タイトル** 西国三十三所草創1300年記念事業  
「革堂 行願寺」源氏物語ゆかりの「藤袴」一般公開

◆**会場** 西国三十三所第19番札所「革堂 行願寺」境内（入場無料）

◆**開催期間** 10月11日（火）～16日（日） 6日間

◆**開催主旨**

### 平安京の“花の風景”を再現

今回、一般公開する藤袴は源氏物語第30帖「藤袴」に登場するものと同じ京都古来自生種です。源氏物語とほぼ同じ歳月（源氏物語は行願寺創建の4年後に初版発行）を費やした「行願寺」の境内に再現し、平安京の原風景を偲びます。

※藤袴の京都古来自生種は準絶滅危惧種に指定されていますが、「御所藤袴の会」ご協力のもと、一般公開が可能になりました。

### 平安京を偲ぶ、様々なイベントを展開

期間中、行願寺の境内では、以下のイベントを展開します。

- 1 願い札の奉納（10月11日～16日 期間限定／1枚500円）
- 2 フジバカマとアサギマダラの関連物品販売
- 3 藤袴茶会（10月15日～16日 2日間限定）

平安時代食していた古代菓子—最高級の丹波大納言と京都の最高煎茶を提供。

### **【革堂 行願寺】**

平安時代中期の寛弘元年（1004年）もとは狩猟を生業としていた行円が創建した寺院。行円が身ごもった鹿を撃ったとき、その傷から小鹿が生まれ、傷ついた鹿が愛おしそうに小鹿をなめながら息絶える様子を見て、殺生の非を悟って仏門に入ったと伝えられます。以来、行円はその時撃った鹿の革を常に身に着けたことから、「革聖」「革聖人」と呼ばれ、行願寺も「革堂」と呼ばれるようになりました。

創建より8年後の寛弘9年（1012年）、「源氏物語」を支援した藤原道長の息子・藤原顕信が行円のもとで剃髪出家し、「行願寺」に大きな足跡を残したほか、建仁4年（1204年）には後鳥羽上皇が行願寺に御幸され、いったん焼失するも上皇の肝いりで再建されるなど、多くの時の権力者や政治家が「行願寺」と深く関わっています。

### **御詠歌「花を見て いまは望みも 革堂の 庭の千草も 盛りなるらん」**

⇒世の健やかな生命の営みを見て昔の因業を思い起こし、今は仏に帰依して滅罪の望みを得てみると、菩提を弔った多くの霊も安らかに成仏してくれたことであろう。



西国三十三所草創1300年  
1300 years since the inception  
of the pilgrimage to Saikoku  
Sanjusansho



### 「革堂 行願寺」アクセスマップ

住所：京都市中京区寺町通竹屋町上ル行願寺門前町 17

京阪電車「神宮丸太町」徒歩 15分

《本件に関するお問い合わせは、下記までお願いします》

西国三十三所草創1300年PR事務局（株式会社TMオフィス内）ほんくほ馬場・石原

TEL：06-6231-4426 FAX：06-6231-4440

Email：[saikoku33PR@tm-office.co.jp](mailto:saikoku33PR@tm-office.co.jp)

URL：公式サイト <http://www.saikoku33.gr.jp/>（「西国三十三所」で検索）

1300年特設サイト <http://www.saikoku33-1300years.jp/>

（公式サイトからリンクしています）



西国三十三所草創1300年  
1300 years since the inception  
of the pilgrimage to Saikoku  
Sanjusansho

### ◆西国三十三所草創1300年記念事業

日本最古の巡礼路「西国三十三所」が2018年に草創1300年を迎えることを記念して、2016年から2020年まで、5年間にわたって展開する歴史的行事の総称です。33寺院で構成する「西国三十三所礼所会」（会長：石山寺 座主：鷲尾遍隆）主催のもと、「特別拝観」や1300年前の巡礼を再現する「徒歩巡礼」をはじめ、未来に向けて新しい巡礼の形を提案する「月参り巡礼」「スイーツ巡礼」など、様々な事業を展開しています。


### 西国三十三所とは

718年(養老2年)、観音菩薩が人々を救うために示したと伝わる観音霊場のルーツです。その後、「観音菩薩は33の姿に身を変えて人々を救う」という教えのもと「西国三十三所」と総称され、各寺院は「礼所」となって順番に参拝する巡礼文化を生み出しました。

その総距離は約1,000キロメートルに及び、和歌山県、大阪府、奈良県、京都府、滋賀県、兵庫県、岐阜県の2府5県を包括するように9びています。その三分の一が中世日本の首都・京都に集中していることを背景に、「西国三十三所」が生んだ観音信仰と巡礼文化は全国に広がりました。

現在、観音菩薩の美しさは海外の注目も集め、多くの外国人が訪れる巡礼道になっており、「西国三十三所」は1300年という節目とともに新しい時代の扉を開きます。



「西国三十三所草創1300年記念事業」ロゴマーク  観音様が三十三所巡礼道をまとうイメージを表現しています。

日本最古の巡礼所33寺院「西国三十三所」(都道府県別/数字は礼所番号)			
和歌山県	1番 青岸渡寺	2番 金剛宝寺(紀三井寺)	3番 粉河寺
大阪府	4番 施福寺	5番 葛井寺	22番 総持寺
	23番 勝尾寺		
奈良県	6番 南法華寺(壺阪寺)	7番 岡寺	8番 長谷寺
	9番 興福寺 南円堂		
京都府	10番 三室戸寺	11番 上醍醐 准胝堂(醍醐寺)	15番 今熊野観音寺
	16番 清水寺	17番 六波羅蜜寺	18番 六角堂 頂法寺
	19番 革堂 行願寺	20番 善峯寺	21番 穴太寺
	28番 成相寺	29番 松尾寺	
滋賀県	12番 正法寺(岩間寺)	13番 石山寺	14番 三井寺
	30番 宝厳寺	31番 長命寺	32番 観音正寺
兵庫県	24番 中山寺	25番 播州清水寺	26番 一乗寺
	27番 圓教寺		
岐阜県	33番 華厳寺		